

# 教 社会学概論

Introduction to Sociology

ISHIKAWA Kazuyoshi

石川 一喜

科目ナンバリング：DEC-2-346-11/DIB-2-431-11/DLP-2-349-11

商学部：「卒業認定・学位授与方針」で謳う「幅広い教養」を身につける為の科目

政経学部：「卒業認定・学位授与方針」で謳う「専門性」を身につける為の科目



## ■授業の目的及び到達目標

社会学の入門編として本講義を位置づけています。社会学を学ぶ上で押さえておきたい基本的な姿勢、モノの見方について身につけていくことを目的としています。「社会」をどう捉えるのか、様々なテーマを様々なアプローチで切り込み、社会の洞察力を身につけていくことを到達目標としています。

## ■授業計画

- 1 オリエンテーション  
講義の概要（ねらい、進め方、評価の方法など）を説明するとともに、社会学とは何かについて考え、その特徴を明らかにします。
- 2 社会学の変遷  
社会学がどのような変遷をたどり発展してきたか、歴史的背景を捉えていきます。その上で、社会学の有用性を現代的な意味合いで説いていきます。
- 3 「私」とは何者か？  
社会の最小単位としての「私」を社会学ではどう捉えてきたか、社会学の入り口として考えていきます。
- 4 対人関係  
社会が成り立つ「私」と「あなた」という関係性について考えていきます。また、自分が他者とどうコミュニケーションを図ってきたのかということをつりかえって、そのことを深めていきます。
- 5 家族論～「家族」とは何か？  
家族の形は時代とともに変化してきました。多様化する家族のあり方を見ながら、その本質的な意味を考えます。
- 6 社会階層  
現代的問題として挙げられる「格差社会」について考えます。「秋葉原無差別殺傷事件」や「相模原障害者施設殺傷事件」をケースとして取り上げます。
- 7 自殺論～命のあり方について考える  
動画「Saving 10,000」を視聴し、「自殺大国ニッポン」を見つめ直していきます。
- 8 流行・文化～80年代を通して「今」を見る  
自分たちが生まれる前の80年代に起こった現象を検証した上で、それが現代とどうつながっているかを考え、「流行・文化」というものについて深めていきます。
- 9 わかちあう社会～第4の消費、シェアリング・エコノミー  
社会のあり方が、「消費すること」から「わかちあうこと」へとシフトしてきている。その変遷の背景とその未来を探っていきます。
- 10 若者論  
大学生として自分たち若者がどう見られてきたかを知り（特に、かつて「さとり」や「ゆとり」と見られていたことに関して）、それを自身に突きつけ、Z世代として語られる若者論を批判的に見ていきます。
- 11 これからの社会を見通す  
今後の社会が「ソロ化」や「人生100年時代」と称される中、それを参考にしつつ、そうしたイメージに感わされず、したたかに、かつ豊かに生きる視点を持ちます。
- 12 講義の総括  
これまでの講義をワークショップ形式で概観し、これからの社会のあり方を自分なりにまとめていきます。
- 13 学びのまとめ  
各自関心のある社会学的なテーマを選び、レポート作成を課題とします。グループに分かれて、一人一人それをもとにプレゼンテーションを行い、自分なりに学びを総括していきます。レポートに対するフィードバックもここでを行います。

## ■授業の方法

各テーマにそって概説し、関連書籍を素材に具体例を挙げながら、その研究者の主張やベースになる考え方を紹介していきます。その上で、意見交換（グループディスカッション等）を行い、自分の見解を整理し、深めていきます。毎回、授業後に「ふりかえり」（感想）をブラックボードにアップしてもらいます。

## ■予習・復習

予習としては、次回講義のテーマに関連した課題（問い）を課すので、それについて思案していただくこと。その上で、自分なりの考えをもって臨むこと。

復習としては、講義中に得た教員や学生からの視点を自分に取り込み、再度、自分の現時点での考えを整理し、ブラックボードにアップする。

## ■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）

「出席状況」「毎回の授業へのコミットの度合い」「レポート作成」等を総合的にみて評価するが、具体的には学期末のレポート作成40%、「ふりかえり」のBbへのアップ（毎回）60%の割合で評価する。なお、「ふりかえり」に対するフィードバックはその次の回の講義冒頭で、学期末レポートのフィードバックは最終回に行く。

## ■教科書・参考書

以下を参考書とする。

見田宗介『社会学入門—人間と社会の未来』岩波新書 2006年

宮内泰介『グループディスカッションで学ぶ社会学トレーニング』三省堂 2013年

塩原良和ほか『社会学入門』弘文堂 2010年

## ■関連する科目

開発社会学、人口社会学、社会調査法、観光社会学など、社会学に関連するすべての科目が関係してくる。